

# 奄美大島・喜界島農業の動き

## ■令和8年3月

### 1 宇検村カンキツ春季管理講習会に70名以上の参加

2月26日、宇検村でJAあまみ主催の「カンキツ春季管理講習会」が開催されました。事前の文書発送に加え、前日に防災無線を利用して呼びかけた結果、約70名の生産者が参加し関心の高さがうかがえました。講習会の中で農政普及課からは、作業効率向上を目的とした樹形改善のためのせん定方法や発生が懸念される病害虫対策について説明を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。今後も巡回指導等を通じて、関係機関と連携しながら、生産者へのきめ細やかな支援に取り組んでいきます。



研修会でせん定等を学ぶ参加者

### 2 喜界町ごま生産振興協議会でごま振興について検討

3月16日、喜界町役場で喜界町ごま生産振興協議会の検討会が開催され、日本一の産地を守るために取り組むべき課題について協議しました。在来の白ごまに加え、収量の高い黒ごまや金ごまの導入、農薬による生産性向上、省力化に繋がる機械の導入等について検討しました。令和8年度は、徳之島支場で選抜された優良系統の栽培や病害虫防除等の試験、引き続き省力化に繋がる機械の検討を実施します。農政普及課では、関係者や生産者と連携し、ごまの産地拡大支援に取り組んでいきます。

### 3 喜界町家族経営協定調印式が開催される

3月24日、喜界町役場で家族経営協定調印式が開催されました。さとうきびを栽培し今年度「指導農業士」に認定された体岡徳章・真知子夫妻と、令和8年度から新規に生産牛の経営を開始する照賢将・彩楓夫妻の二組が、経営目標や役割分担・休日の設定などが記載された家族経営協定を締結しました。経営の確立・発展には家族内の協力が必要不可欠であり、農政普及課では協定の推進を通じて、農業経営の確立を図り、産地の活性化を支援していきます。



家族経営協定調印式の様子